

住の江や和泉の街の七まちの

鍛冶の音きく菜の花の路

歌 意

住の江（住吉大社を中心とする一帯の地域）よ。和泉の街の七まちあたりに響く鍛冶の音が聞こえてくる菜の花の路がなつかしく思い出されます。

掲出歌集 『常夏』 明治41（1908）年7月
初出 「明星」 明治39年11月号（晶子28歳）

